

# EV用ツール エマージェンシープラグ

事故に巻き込まれた電気自動車（EVやPHEV）は通常のエンジン車とは異なった安全上のリスクがあります。エマージェンシープラグは充電ポートに差し込むだけで、予期せぬ車両の動きを防止します。これにより作業者及び周辺に対して安全な環境を作り出すことができます。

## ▶ 特長

### 簡単使用

エマージェンシープラグは誰でも車両の充電ポートに差し込むだけで簡単に使用できます。エマージェンシープラグは充電ポートへ接続することで車両に対して充電中と認識させます。全ての電気自動車は安全機能として充電中は運転できなくなる仕様となっています。これによりドライブシフトが「D」の状態であれば、エマージェンシープラグを差し込むことで強制的に「P」または「N」に切り替え、予期せぬ動きを防止できます。



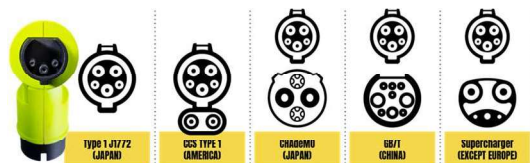
シフトは「D」

充電ポートに接続

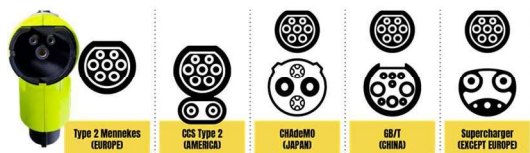
「N」に変わります  
(車種により「P」)

### 世界中全ての電気自動車に対応

エマージェンシープラグの両側には2種類のプラグ形状を用意し、現在世界中で採用されている全ての充電ポートに対応できます。

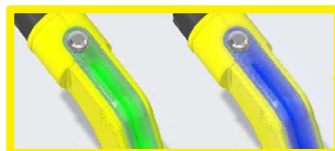


## PLUG TYPES & EMERGENCY PLUG



### インジケータにて状態確認

本体のLEDインジケータにて状態を確認できます。正常にエマージェンシープラグが機能しているかどうかを離れたところからも確認することができます。



待機状態であれば緑色で点滅します。充電ポートに接続し正常に機能している場合は青色で点灯します。

## 電気自動車の事故がより危険なのはなぜか

電気自動車は従来のエンジン車と違い、クラッチを離すとスイッチが切れるわけでもなく、エンジンの音も聞こえません。モーターは正常に安全システムが機能すれば強い衝撃があった場合にのみオフになります。しかし、現場に到着した隊員が全ての安全システムが適切に作動しているかどうかを確認することは非常に困難です。また一部の電気自動車には運転席に座ると始動するシステムが搭載されており、キーやボタンを押さずとも発進できる車両もあるため、あらかじめ電源が落ちている事を確認していても、不意に電源が入ってしまう可能性があります。又、車内の要救助者が無意識にアクセルを踏んでしまう可能性があります。その場合、電気自動車はトルクが大きいため、車輪止めを乗り上げ、飛び出してしまうことも考えられます。サービスプラグを使って電気を遮断する方法もありますが、事故による損傷が激しい場合はサービスプラグへのアクセスが非常に困難であり、また、ブランドやモデルによってサービスプラグの位置が異なるため、非常に時間を要するというリスクもあります。

### 危険エリア



## ▶ 仕様

電源	単三乾電池×3本
寸法	247×186×69mm (本体)
質量	約475g (本体・乾電池含む)
保護等級	IP44
内容品	・カバーオープナー (樹脂製レバー) ×2本 ・テスラ用アダプター ・単三乾電池 (テスト用) ×3本 ・収納ケース

## ▶ エマージェンシープラグの最適分野

エマージェンシープラグは電気自動車に関わる全ての人達に対して、安全に作業できるようにするものです。また、エマージェンシープラグの使用により、車両に対して不必要なダメージを防ぐことができ、車両の所有者に対する財産保護の観点でも役立ちます。エマージェンシープラグは以下の用途で最適となり、特別な訓練は必要なく簡単に使用できます。

### 救助



電気自動車の事故現場に到着した際、搭乗者の状況をそのまま確認することは困難です。車両の損傷が少なくても、要救助者を安全に車外へ救出できる保証はありません。車両へのアプローチの最初のステップとしてまずエマージェンシープラグを使用することでより安全に作業を進めることが可能です。

### 救急



電気自動車に乗っている人への救護処置を行う場合に、声掛けを行うことで意図せずにアクセルペダルを踏みこみ、車両が走り出してしまう可能性があります。まずエマージェンシープラグを接続してからアプローチすることでより安全に救護活動が行えます。このことは事故現場に救急隊が先着した場合にも同じことが言えます。

### 警察



上記の通り、警察隊が電気自動車の事故現場に先着した場合、エマージェンシープラグの使用は有効的です。さらに検問や聴取の際、搭乗者に対しエンジンを切るよう要求しますが、電気自動車の場合、音で判断できません。逃走や暴走を防ぐためにエマージェンシープラグの使用は有効です。

### その他の緊急サービス



エマージェンシープラグは電気自動車に関わる可能性がある自衛隊やロードサービス会社、高速道路パトロール隊等にも最適なツールです。それぞれの作業において、車両と周囲の安全確保のための最初のステップとして使用できます。

## FAQ (よくある質問)

### 電気自動車が作動中かを外から確認できるか？

電気自動車が作動中かどうかを音などの要素で確認することは困難です。車両内部の確認を行うためにあらかじめエマージェンシープラグを接続することで予期せぬ車両の動きを防止できます。

### エマージェンシープラグが使用可能な車種は？

E V、P H E V等の充電ポートがある電気自動車です。

### エマージェンシープラグの使用で電気自動車の電源は落ちますか？

エマージェンシープラグを使用しても、全ての電源は落ちません。そのため、エマージェンシープラグ使用中、窓やシート（電動）の操作も可能です。

### エマージェンシープラグで感電防止対策できますか？

エマージェンシープラグは上記の通り、感電防止対策の用途としては使用できません。事故状況・作業内容により感電の恐れがある場合は必要な耐電装備をし、各自動車メーカーのマニュアルを参照下さい。

### エマージェンシープラグを差し込む際に感電することはありますか？

エマージェンシープラグの接続作業で感電することはありません。

### エマージェンシープラグ使用後の車両への影響は？

エマージェンシープラグが車両、内部の電子機器にダメージを与えることはありません。エマージェンシープラグを外した後は電源のオン/オフ操作で、通常通り運転可能です。

### エアバッグが作動している場合、エマージェンシープラグを使用する必要はありますか？

エアバッグが作動しても、インターロック（遮断機能）が作動したとは限らないため、最初にエマージェンシープラグを使用することを推奨します。

### 今後の自動車メーカーによるモデルチェンジや新型モデルにエマージェンシープラグは対応できますか？

エマージェンシープラグにはUSBポートを付属しており、製品のアップデートを可能にしています。



- ・本製品は通常の救助手順の代替となるツールではありません。作業を開始する前の安全対策としてご使用下さい。
- ・車両への安定化は常に行って下さい。



株式会社 赤尾

本社・東京営業部 〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目13番13号 TEL 03(3832)2201 FAX 03(3833)6217  
本店・大阪営業部 〒550-0013 大阪市西区新町4丁目1番1号 TEL 06(6532)4131 FAX 06(6536)7456  
福岡支店 〒812-0893 福岡市博多区那珂3丁目11番20号 TEL 092(431)9221 FAX 092(451)3433  
名古屋支店 〒451-0077 名古屋市西区笹塚町1丁目29番2号 TEL 052(532)0811 FAX 052(532)0815  
仙台営業所 〒980-0013 仙台市青葉区花京院2丁目1番61号 TEL 022(722)0884 FAX 022(722)0796  
沖縄営業所 〒902-0067 那覇市安里2丁目4番25号 TEL 098(914)1373 FAX 098(963)8691

URL <https://aka-co.com/>

■製品は改良のため予告なく仕様・色・加工等の変更をさせて頂くことがあります。

202307